



# プラチナ・シリーズ

## 3 ゴンサロ・ルバルカバ


©Yasuhide Yoneda

～キューバが誇る世界的ジャズ・ピアニスト～

**10/6(木) 19:00 開演(18:30開場) 東京文化会館 小ホール**

【出演】

ゴンサロ・ルバルカバ(ピアノ)  
Gonzalo Rubalcaba, Piano

【曲目】

当日発表  
to be announced on the day



S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥2,500 全席指定・税込

4/2(土)発売

\*B席は東京文化会館チケットサービスのみお取り扱い。  
※都合により曲目等、変更の可能性がございますのでご了承ください。  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

■チケットのお申込み

東京文化会館チケットサービス ..... **03-5685-0650**  
イープラス ..... <http://eplus.jp/t-bunka/>

ローソンチケット ..... 0570-000-407 [l-tike.com](http://l-tike.com)  
チケットぴあ ..... 0570-02-9999 [t.pia.jp](http://t.pia.jp)

主催:東京都／東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

お問合せ:東京文化会館 事業企画課 03-3828-2111(代表) [www.t-bunka.jp](http://www.t-bunka.jp) Twitter [@tbunka\\_official](https://twitter.com/tbunka_official)

CULTURE & TOKYO



# プラチナ・シリーズ

## 3 ゴンサロ・ルバルカバ

ラテン系のピアニストというと、聴衆をノセまくる娛樂性とかアクロバティックなテクニシャンというイメージが強いが、しかしそういう先入観でもってゴンサロ・ルバルカバのステージに接すると、いさかの戸惑いを覚えるかもしれない。

もちろんこの人は、ラテン系特有の躍動や熱狂、超絶技巧を有り余るほど持ち合わせている。だが彼の音楽にあっては、そういう表面的な事象が単純にひけらかされることはない。とりわけデュオやソロといった小さなフォーマットにおける演奏は、内省的とさえ表したくなるほどだ。磨き抜かれた濃密なタッチ。スタティックなテンションに満ちたタイム感覚。強靭なビアニズムとリズム感に裏打ちされた超絶的高速パッセージ。そんな彼のパフォーマンスは時に聴き手に消耗を強いる。が、裏を返せばその消耗は彼の魂に深くコミットしたことの証であるのだ。

極上の音響を誇る“文化の小”で聴くゴンサロ。100%の満足がそこに待っている。

藤本史昭(音楽評論家)

### ゴンサロ・ルバルカバ(ピアノ)



©Yasuhide Yoneda

### Gonzalo Rubalcaba, Piano

1963年、革命後のハバナ生まれ。才能に溢れる、モダンジャズ界を代表するアーティストである。音楽家の家庭で育ち、幼い頃からキューバ文化のみならずハバナが誇る伝統的、民族的な歌やダンスと触れ合ってきたが、正式に学んだのはクラシック音楽であり、ハバナのインスティテュート・オブ・ファイン・アーツの作曲科を卒業している。その一方10代半ばにはジャズ・クラブ等でドラマーやピアニストとしても活躍し、大学卒業後はポピュラー・ミュージシャンの世界へ身を投じる。1984年には自身のグループ・プロジェクトを引き連れるまでに成長し、この時期の作品はハバナのEGREMやドイツ・フランクフルトにあるメドールのスタジオにて録音された。そして、1985にはディジー・ガレスピー、1986年にはブルーノート・レコードのブルース・ランドヴァー社長と運命的な出会いを果たす。これを端に1991年はドミニカ共和国へ、1996年にはマイアミへと活動の拠点を移すことになる。海外レコーディングした一連の作品は東芝EMIおよびブルーノート・レコードからリリースされ、過去14年で4度グラミー賞を受賞。ノミネートに至っては15回を記録している。また、ピアニストとしてソロでステージに立つ他、小規模なジャズグループから室内楽団、そして交響楽団と共に演を果たしている。

レパートリーは「正統派」ジャズからビバップ、アフロキューバン・ジャズ、そしてキューバやメキシコの伝統的なバラード、ボレロまで広がりを見せ、今ではキューバの古典的な作品にまで及んでいる。ルバルカバの芸術は常に進化し、アフロキューバンの伝統からインスピレーションを受け続けるだろう。

### 小曾根 真 & ゴンサロ・ルバルカバ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

ゴンサロ・ルバルカバがジャズとクラシックを縦横に駆け巡る小曾根真と共に!  
2台ピアノによる協奏曲や、2人によるジャズ・セッションをお届けします。

10月1日(土)17:00 開演 | 10月2日(日)15:00 開演  
東京文化会館 大ホール | オリンパスホール八王子

【出演】  
ピアノ: 小曾根 真  
ピアノ: ゴンサロ・ルバルカバ  
指揮: 角田綱亮  
管弦楽: 東京都交響楽団

【プログラム】  
バルトーク: 2台のピアノと打楽器のための協奏曲  
ジャズ・セッション(小曾根 真×ゴンサロ・ルバルカバ)ほか  
料金(共通) S席5,000円 A席 4,000円  
B席3,000円 25歳以下1,000円\*要証明書

主催: 東京都/東京文化会館 アーツカウンシル東京(公益財團法人東京都歴史文化財团)  
共催: 公益財團法人八王子市学園都市文化ふれあい財團(オリンパスホール八王子公演)



©Yow Kobayashi  
©Mario Garcia Joya

### Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向かって発信していきます。

**1 6/6(月)19:00**  
**クラウス・フロリアン・フォークト**  
~スター・テノールが歌う「水車屋の娘」~



【出演】  
クラウス・フロリアン・フォークト(テノール)  
ヨブスト・シュナイデラート(ピアノ)

【曲目】  
■シユーベルト:  
歌曲集「美しき水車屋の娘」

**2 9/22(木・祝)16:00**  
**浜田理恵**  
~言葉は歌い、音楽は語る~



【出演】  
浜田理恵(ソプラノ) 晴 雅彦(バリトン)  
中村真美(クラリネット・バスクラリネット)  
山本直輝(チェロ) 三ツ石潤司(作曲・ピアノ)

【曲目】  
■三ツ石潤司: 音楽遊戯  
「アリスの国の不思議」(新作初演) 他

**4 11/2(水)19:00**  
**タチアナ・ヴァシリエワ**  
~無伴奏チェロの若き至宝~



【出演】  
タチアナ・ヴァシリエワ(チェロ)

【曲目】  
■J.S.バッハ:  
無伴奏チェロ組曲第1番、第5番  
■コダーリ:無伴奏チェロ・ソナタ

**5 2017年2/17(金)19:00**  
**渡辺貞夫**  
~ジャズ界のスーパー・レジェンド~



【出演】  
渡辺貞夫(サクソフォン) 他

【曲目】  
当日発表

第1回 S 7,000円 A 6,000円 B 4,000円  
第2回～第5回 S 5,000円 A 4,000円 B 2,500円  
第1～4回=4月2日(土)発売 / 第5回=11月3日(木・祝)発売

